

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	天龍峡活性化事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	産業経済部	課等名	観光課		包含する細々目	1	7	1	4	14	6	14,700
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり											
施策	11 事業者自らが実施するパワーアップ活動											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	済み	地域経済活性化プログラム						
		事業期間	17	年度～	27	年度	関連計画 条例等					

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	天龍峡	観光客数	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする	
			170000			
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	誘客企画の実施 名勝地にふさわしい景観の形成・修景	誘客企画	18目標	4	最終目標	23
			18実績		19目標	↑
		23目標		23実績	最終目標達成年度	
		18目標		最終目標		
		18実績		19目標	↑	
		23目標		23実績	最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	文化財としての名勝天龍峡保護を目的とした保存管理計画及び名勝天龍峡の自然景観(森林)保全に向けた具体的な整備計画を策定する。また、南信州を代表する天龍峡再生を目指した「天龍峡再生プログラム」の中で、誘客宣伝・観光イベント・観光ガイド人材育成・各種整備計画等の指針を具体的に示し、具現化に向け取り組みを図る。	天龍峡管理保存計画の策定 天龍峡地域再生マネージャー委託事業 資源調査 天龍峡再生計画	新たな仕掛けにより増加した観光客(数)	
	18年度の実績			
	19年度計画	天龍峡地域再生マネージャー委託事業 ・天龍峡再生計画 ・天龍峡誘客企画 ・人材育成 ・情報発信 天龍峡保存管理計画に基づく実施計画の立案	新たな仕掛けにより増加した観光客(数)	

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源	7,600	6,600
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
一般財源	4,400	5,100	
事業費計(A)	12,000	11,700	
人件費	正規職員所要時間	18年度 600	19年度 600
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	2,146	2,146
	トータルコストA+B	14,146	13,846

特定財源内訳や補足事項	ふるさと財団助成金
-------------	-----------

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	・天龍峡の観光客の増加 ・天龍峡における誘客企画 ・景観整備	観光消費額(円)	現状値	14500000	19実績	15000000
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	
		経済自立度(%)	現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
かつて80万人が来峡した天龍峡の観光客は減少をたどり、天竜舟下り船の事故・岩盤崩落による船着場の閉鎖により、さらに拍車をかけた。これまでも、天龍峡再生・活性化を目的とした構想の策定、プロジェクト会議の取り組みも歯止めをかけることができなかった。周辺地域は治水事業により生まれたエコパレーファクトリーパーク、今田平農業地として整備され、平成19年度末には天龍峡ICが供用開始となり、より訪れやすい観光地として位置付けた天龍峡を核とした観光振興策の展開が期待されている。南信州を代表する名勝天龍峡の再生に向け、周辺観光地と多様な産業が連携した商品の企画開発を促し、天龍峡	中央自動車道から飯橋道路の一部開通により、天龍峡ICが飯田下伊那地域への南の玄関口に位置付くことで、名勝地へ迎え入れる観光地整備は急務となる。この転機は、観光客の減少に歯止めをかける好機であり、近年の観光客ニーズに応える多様な独自の観光商品の創出に向け、周辺のエコパレーファクトリーパーク、花の里事業、今田平と連携した戦略の展開も必要となる。	天龍峡観光客の減少は著しく、天龍峡ICまでの開通は住民も一大転機の見込みとして捉えている。とりわけ観光振興への期待が大きく、かつての賑やかな観光地再生へ向けた活動へ、自ら取り組む意識が高まりつつある。

【See】18年度の振り返り

目的妥当性評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価)	結びつく	(その理由)	有効性評価	成果をさらに向上させる余地がありますか？	(評価)	余地がある	(その理由)
		南信州の玄関口としてますます重要な観光拠点に位置付く名勝天龍峡を核とした広域的な連携を目指したプログラムの策定は必要である。また、核となる天龍峡が名勝地として大切に保護していくための保存管理計画策定は必要である。						間もなく策定されるプログラムにより、向上させる余地がある。	
目的妥当性評価	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価)	必要性がない	(その理由)	有効性評価	廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価)	影響あり	(その理由)
	天龍峡を核とした南信州全体の観光振興に向けた取り組みの対象として妥当であり、拡大・縮小の必要性はない。					天龍峡の再生に取り組まなければ再生できない。			
目的妥当性評価	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価)	必要性がない	(その理由)	有効性評価	他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？	(評価)	統合不可能	(類似事業名、理由)
	天龍峡再生へ向けた施策の展開には、プログラム・保存管理計画の策定は必要であり、見直しは必要性がない。					「天龍峡再生道路整備事業」(建設部土木課) ICと天龍峡中心地を結ぶ天龍峡再生事業の一つで、庁内天龍峡チーム会議等で調整・連携を図るが、事業の性格上、統合は難しい。			
目的妥当性評価	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価)	必要ある	(その理由)	効率性評価	成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価)	不可能	(その理由)
	「地域経済活性化プログラム」で観光をプラットフォームにした多産業連携に位置付けた天龍峡の姿を実現させるためには、行政が積極的に支援する必要がある。観光業は、飯田の地域経済にとって重要な産業である。					再生プログラム・保存管理計画は市で策定すべき計画であり、事業の展開も行政がマネジメントする内容であり不可能である。			
目的妥当性評価	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価)	必要ある	(その理由)	公平性評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価)	妥当である	(受益者とその理由)
	「地域経済活性化プログラム」で観光をプラットフォームにした多産業連携に位置付けた天龍峡の姿を実現させるためには、行政が積極的に支援する必要がある。観光業は、飯田の地域経済にとって重要な産業である。					飯田市 名勝天龍峡の管理団体は飯田市であり、天龍峡再生へ向けたプログラムは、まさに行政が作成すべきマスタープランであることから、負担は妥当である。			

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	平成20年度まで天龍峡再生マネージメント事業を実施し、誘客を図るとともに再生の方向性の組み立てを図る。
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	平成19年度地域再生マネージャーの活用で、官民一体となった具体策の実現に取り組む。

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	

【指摘事項】

施策マネジメント会議	天龍峡まちづくり整備支援事業とセットした取組みが有効的ではないが。
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	